

## 1. 研究会名称

安全な暮らしのための情報技術研究会

## 2. 背景

情報技術とりわけ画像情報通信技術の進歩は多くの人に便利な環境を提供してきた。しかしその便利さを悪用して社会に不安と緊張を与える事例が現れ、その被害者も増加している。それらの事例の多くは高度情報技術を駆使しており、法律や取締りが後手にまわっていることを否定できない。情報通信技術を応用して現れたこれらの事象に対しては、法的な対応が急がれるとともに、情報通信技術としての対策も急務である。

そこで画像情報通信技術の発展に多くの貢献をしてきた画像電子学会の中に安全な暮らしのための情報技術研究会を設けて学会としての議論を行う場が期待されている。これらのトピックに関する画像電子学会での議論の立ち上げは、第18回VMA研究会および2007年度の新企画セッションで行われ、参加した情報技術、法律、社会システムなどの専門家達によって内容が深められた。

## 3. 対象分野

安全な暮らしのための情報技術に関する次のようなトピックを扱う。

- 情報通信技術を用いた犯罪・日常生活のトラブルへの対応
- 情報通信技術を用いた悪質商法への対応
- 情報通信技術を用いた公正な社会安全システム
- 情報通信技術を用いた社会安全への対応に資する人材育成
- 情報通信技術の社会安全への適用に関連する法的規制
- 高度情報時代に対応した法改正の必要性

## 4. 研究委員会構成

委員長:

中西 浩 (大阪大学)

コアメンバ:

伊藤 京子 (大阪大学)

加藤 直隆 (国土舘大学)

吉松 恵子 (国民生活センター)

小町 祐史 (国土舘大学)

渡辺 則芳 (国土舘大学)

## 5. 主要活動

- 研究会開催(1~2回/年(関西および関東))
- 年次大会企画セッション